

グランダーAL-500X

グランダーAL-500Xは、アルミニウム及びアルミニウム合金を浸漬又はシャワースプレー法で化成処理するノンクロムの薬剤です。

グランダーAL-500Xを化成することにより、塗装後の塗膜性能を向上させます。

1. 用途

建材、自動車、弱電関係等の塗装下地。

2. 特長

- ・ 処理液の安定性が良い。
- ・ 塗装後の耐食性、密着性が優れています。
- ・ クロムイオンを含んでいませんので排水処理においては中和凝集で処分できます。

3. 使用方法

	工 程	備 考
1	脱 脂	グラндаクリーナーで脱脂し、清浄な表面にする。
2	水 洗	酸洗後、直ちに清水で十分に洗浄する。
3	皮 膜 化 成	グランダーAL-500Xで化成処理を行います。
4	水 洗	化成後、直ちに清水で十分に洗浄する。
5	水 洗	常時オーバーフローを行い清水で充分洗浄する。
6	乾 燥	速やかに乾燥する。

※ 詳細な設備仕様に関しては技術本部へご相談下さい。

4. 建浴方法

グランダーAL-500Xの建浴割合（1,000 L）について

グランダーAL-500X建浴剤	35～50 kg
水	残り
1,000 L	

- (1) 処理槽に約900L水を入れ、グランダーAL-500X建浴剤30kg（ダイカスト材）又は50kg（その他アルミ材）を加え、充分攪拌します。
- (2) 更に水を加え全量を1,000Lとし、処理液を標準温度まで加温し、作業を開始します。

5. 標準使用条件

項目	アルミ加工材	その他アルミ材	備考
処理温度	30 ~ 35 ℃	50 ~ 55 ℃	
処理時間	0.5 ~ 1.0 分	1.0 ~ 3.0 分	
遊離酸度	5.5 ~ 7.5 pt	5.0 ~ 10.0 pt	
酸比	5 以下	5 以下	AL 1000ppm 以下

グランダーAL-500Xは作業量に比例して薬剤が消耗され、次第に濃度が低下しますので濃度を測定して不足分を補給しなければなりません。また処理を続けて行きますと、だんだん液中に有害なイオンが蓄積してきます。このような時にはグランダーAL-500X補給剤を補給して、適正な濃度にしても良好な皮膜を化成することは出来ません。この場合には液を廃棄し、新しく建浴をしなければなりません。

6. 薬剤補給量算出式

遊離酸度	グランダーAL-500X (補給剤)
	補給量 (kg) = $4.6 \times (Po-P) \times \text{処理液量 (m}^3\text{)}$
Po : 標準ポイント P : 測定ポイント	

7. 濃度測定

全酸度、遊離酸度は中和滴定で濃度測定を行う。処理液をピペットで採集し、指示薬2~3滴加え、試験液で滴定する。

	採集量	指示薬	試験液	色相の変化
全酸度	25 mL	フェノールフタレイン	0.1mol/L苛性ソーダ	無色 → 桃色
遊離酸度	25 mL	B・P・B	0.1mol/L苛性ソーダ	黄色 → 青色
酸比	全酸度 ÷ 遊離酸度			

8. 製品の荷造外観

グランダーAL-500X (建浴剤)	ポリコン	20kg詰
グランダーAL-500X (補給剤)	ポリコン	20kg詰

資料No.210511



本社 大阪府吹田市広芝町12-41 TEL 06(4861)8512
営業所 関東・名古屋・大阪・西日本(岡山・福岡)